

8 協働による持続可能なまちづくりの推進における施策の方向性

協働による持続可能なまちづくりを推進するための3つの視点を踏まえ、施策の方向性を次のとおりまとめました。本市の条例前文から第3条までの基本的な事項を大切にしながら協働による持続可能なまちづくりを進めるため、「協働によるまちづくりを推進する仕組み」ごとに整理しています。

〈協働によるまちづくりの基本原則〉

- 1 誰でもまちづくりに取り組むことができます
- 2 互いの自主性を尊重しながら取り組みます
- 3 互いの自立性を尊重し、対等な関係で取り組みます
- 4 それぞれの地域性を大切にして取り組みます
- 5 情報の共有を図りながら取り組みます
- 6 互いに信頼関係を築いて取り組みます
- 7 次代につながる人づくりをしながら取り組みます

〈推進する仕組みごとの施策の方向性〉

(1) めざすまちに向かって

■協働の理念共有

地域課題を主体的に解決するための基盤となる「地域のつながり」の再構築を行います。地域の現状や実情、社会情勢の変化を踏まえて、「市民・まちづくり活動団体・事業者・行政」が参画する協働による持続可能なまちづくりの理念を共有します。

〈主な取組内容〉

- 協働に係わるシンポジウムや講演会等の開催
- 出前トーク等による協働の理念啓発
- 協働事例集の共有による事例紹介と新規事例の掲載
- オンラインを活用した幅広い世代や遠隔地からの参加機会の提供

事例紹介

《オンライン開催》廿日市が面白い！つながり まちづくりトーク

コロナ禍の中、まちづくりについて共に考える場を持ちたい、活動をされている方々の話を聞きたい、「協働」について市民の皆さまの思いを聞きたい、けれど人が集まる事業はできないという現状がありました。

そのような中で、令和3（2021）年2月10日（水）19：00から、「廿日市が面白い！つながり まちづくりトーク」をオンラインで開催しました。一人ひとりが幸せに暮らし、未来に希望を感じられる「まち」を創りたい…という気持ちに共感していただいた人たちが、Zoom参加で50人、YouTubeによるLive配信により323人、そしてアーカイブを視聴いただいた方172人に参加していただきました。



■協働によるまちづくりの実践・成果の共有

市民・まちづくり活動団体・事業者・行政それぞれの役割の再確認を行います。

庁内における部局を横断した事業展開を進めるため、庁内での協働推進体制を再度確認し、まちづくりにかかわる担当課が横断的に連携して取り組むための情報共有の場を持ちます。

地域福祉や健康、人づくりなど関係各課とのワーキングや連携及び情報交換を行いながら、地域での暮らしの確保に向けた取組を推進します。

＜主な取組内容＞

- 目的に応じた庁内関係部署による会議の開催
- 協働事例集の共有による事例紹介と新規事例の掲載 ※再掲

地区の人が集う場を作る ～串戸ワイワイ土曜朝市～

串戸地区自治協議会は、地区の人が育てた新鮮な野菜や果物などを販売する朝市を市民センターで開催しています。朝市当日は大研修室が開放されてサロンにもなり、毎回100人前後が訪れて、にぎわいを見せています。6年目になる令和2（2020）年の途中からは、月1回から月2回の開催に変更し、ますます盛り上がっています。

きっかけは、串戸市民センターは交通アクセスの良さから多くの自主活動クラブに利用されていました。しかし、活動者の大部分が串戸地区以外の人で、串戸地区の人が市民センターを利用することはほとんどありませんでした。そこで、串戸地区自治協議会は、地区の人が気軽に足を運び、集える場を市民センターに作ろうと、平成27（2015）年から土曜日の朝市を開始し、現在に至ります。



事例紹介

(2) 特性を生かしたまちづくり

■協働による持続可能なまちづくりを支える環境整備

まちづくりの拠点である中間支援組織（市民活動センター・市民センター）の機能を強化し、地域内外の様々な団体や専門家等と地域をつなぐことで、地域課題の解決へ導きます。（ソフト）

市民や地域自治組織などがまちづくり活動や生涯学習の拠点として利用している市民センター・市民活動センターへのICTを活用したネットワーク環境を整備していきます。（ハード）

感染症や災害、異常気象などで外出や移動が困難な中でも、安心してつながることができる環境づくりを進めます。

地域において、移住者や地域支援員などを積極的に受け入れる環境づくりを進めます。

新たな発想や視点によって地域資源の魅力の発見や活用を促し、地域を活性化していきます。

「地域力の維持・持続」や「地域における新たな活力創出」に向けた地域自治組織の活動を支援し、地域が主体となるまちづくり活動の支援を充実します。

<主な取組内容>

- 市民活動センター・市民センターへのICT環境の整備と利活用の促進 ※新規
- まちづくり活動への支援の充実に向けた中間支援組織の機能強化
- 中山間地域の持続可能なまちづくりの支援のための地域支援員配置
- 地域自治組織のチャレンジを応援する補助金等の交付 ※新規

■コミュニティビジネスの普及と推進

ビジネス的な手法によるまちづくり活動（地域活動の解決等）の支援を進めます。

コミュニティビジネスで地域課題を解決する取組が全国的に進む中、本市においても取組が進んでいることを共有し、成功事例を知る機会をつくります。

事業者によるまちづくり活動への参画を促すために、商工団体等と連携して事業者の社会貢献活動やボランティア活動を促進します。

事業者の持つスキルや経験を持続可能なまちづくりへ生かしていけるような場づくりを進めます。

<主な取組内容>

- まちづくり活動団体向けコミュニティビジネスの勉強会の開催 ※新規
- 地域に密着した課題を解決するコミュニティビジネスへの支援
- 多様な主体による協働による持続可能なまちづくりの取組への支援（事業提案制度）

■地域課題解決に向けた円卓会議の推進

地域において「話し合い」を円滑に行うために、多様な円卓会議の開催に向けた支援を行い、地域住民の交流を通じて、地域資源や課題の共有を促進していきます。

ICTを活用した会議の持ち方等の導入や支援を行い、若い世代や遠隔地からの参加の機会を広げます。

多様な主体が参画して、地域をマネジメントする取組を支援します。

<主な取組内容>

- 地域の課題解決に取り組む組織づくりの支援 ※新規
- 住民の合意形成を図るための円卓会議の運営支援
- 町内会加入の促進
- 多様な形式での円卓会議の開催 ※新規

あなたのチャレンジをサポートします！～廿日市ビジネスチャレンジコンテスト～

市内で新しくビジネスを始めたい人を掘り起こすため、「廿日市ビジネスチャレンジコンテスト」を実施しています。若い経営者や働く人の活躍が、地域の活性化につながるように、市や廿日市商工会議所、同青年部が連携し、ビジネスチャレンジを形にしていける計画づくりや、事業のPR活動など、廿日市市で創業をめざす人を応援しており、過去の受賞者によるビジネスも形になり始めています。

きっかけは、人口減少による介護・医療等の地域の問題や、若者の流出など懸念される中、廿日市商工会議所青年部は、若い人が地域の中で輝くことで地域が元気になると考えたことです。そこで、「若者がチャレンジしやすい環境」「社会問題を解決していける環境」をつくりたいと提案し、平成30（2018）年度にスタート。毎年レベルアップしながら、廿日市市で創業したい人を応援する仕組みづくりに取り組んでいます。

事例紹介



(3) 情報発信による信頼関係づくり

■受け手の立場に立った情報発信・共有の推進

若年層向けに参画の間口を広げるため、ICTを活用した情報発信、情報共有を強化します。

情報発信に際し、受け手を意識して情報格差の解消や、情報格差を生まない仕組みをつくりまします。

情報の発信者・受信者の双方が情報発信・共有の重要性を学び、新しい機器の使い方やそれを使った取組に伴う技術等の習得を支援します。

市民が持続可能なまちづくりへの関心を高めるように推進するため、市政情報や市政への参加に関する情報の伝え方について工夫します。

<主な取組内容>

- 地域のICT化を進めるICT活用講座の開催 ※新規
- 各種情報発信ツールを利用した情報提供
- まちづくり活動に関する情報の一元化 ※新規
- 他の取組状況の共有や助成金情報などまちづくり活動に資する情報発信及び共有
- 市政情報の積極的な公開 ※新規

コロナ禍の子育てを応援したい！～オンライン離乳食相談～

子どもの離乳食をこれから始める方や最近始めた方に、離乳食を作るコツを伝えたり、離乳食に関する悩みごとに答えたりする離乳食相談を、オンラインにより実施しています。オンラインの良さを生かして、保健師と栄養士とで協力しながら子育ての応援をしています。

きっかけは、これまで来所による育児相談を、新型コロナウイルス感染症による影響で令和2（2020）年3月から中止していました。代わりに電話による相談が増えましたが、お子さんの顔が見えず、適切な助言ができないことが多く、子育て中の方からも「離乳食について悩んでいても、コロナ禍で外出できず、相談会に行けない」との声が。そこで、6月からオンラインによる離乳食相談を開始しております。

オンライン 離乳食相談

オンラインで気軽に栄養士に直接相談ができる
「オンライン離乳食相談」をzoomを活用して開催します

事例紹介



(4) 人づくり

■知識・技能をまちづくりにつなげる

幅広い世代の市民が学び合うことができる学習機会をつくることで、持続可能なまちづくりにかかわる人材の育成を促進します。

習得した知識や技能をまちづくり活動で発揮できる場づくりを進めることで、持続可能なまちづくりにかかわるきっかけをつくります。

<主な取組内容>

- 市民センター等での地域課題解決につながる主催事業の実施
- 人材育成塾の開催
- 地域ぐるみで子どもや若者を育てる体制づくり（地域学校協働活動※ほか）

■若い世代が参加しやすい機会づくり

誰もがまちづくり活動に参加しやすい環境づくりを進め、子どもや若者※などが持続可能なまちづくりに気軽に参加できる機会づくりを行います。

地域内の世代間交流を促進して、若い世代と年配者との融和を図り、幅広い世代で担い手を育成するとともに、まちづくり活動の継承を進めます。

地域の中で子どもたちの生きる力や地域への愛着を育むため、子どもの育成を核としたまちづくり活動や人づくりを進める取組を行います。

<主な取組内容>

- 地域ぐるみで子どもや若者を育てる体制づくり（地域学校協働活動ほか） ※再掲
- 子どもや若者などの主体的な事業実施

■リーダーシップを発揮する人材の育成支援

次世代のリーダー候補としての心構えやスキル、ノウハウなどを習得する機会をつくります。

持続可能なまちづくりの当事者としての意識を持つことができるよう、あらゆる世代の地域住民が、地域の魅力や課題を知る機会をつくります。

地域のまちづくり活動やボランティア活動に参加したり、地域の大人と話し一緒に行動したりする中で「地域への愛着」が生まれることから、子どもたちへの地域について学ぶ環境づくりを進めます。

保護者世代が子どもと共に地域にかかわり、地域が変わっていくことを体感することで愛着心が生まれるため、子どもたちが持続可能なまちづくりへ参画しやすい環境をつくります。

<主な取組内容>

- まちづくりリーダー養成講座の開催（若年層・壮年層※） ※新規
- ふるさと意識を醸成する事業
- 廿日市の魅力をより深く認識し愛着心を育める事業の開催

■人材を見いだすための交流の場や機会の提供

各世代が気軽に参加できる場や、まちづくり活動への関心を持つ機会の提供を促進します。

他地域の取組や課題の共有と意見交換を行うための場づくりを推進します。

地域での取組を市外へ発信したり、地域間で情報共有したりできる活動の支援を行います。

<主な取組内容>

- 情報交換会の開催
- 市政情報の積極的な公開 ※新規・再掲
- OICT と対面との効果的な組合せによる多様な人々の交流機会の提供 ※新規

■協働によるまちづくりの担い手としてふさわしい職員の育成

まちづくりが「自分ごと」となるよう、協働の理念共有の研修を継続的に実施し、地域のまちづくり活動への参加の動機付けを促進するなど、職員の意識改革を進めます。

積極的にまちづくり活動に参画し、職員の経験やスキルを生かして地域のために共に考え、行動する職員が求められることから、協働による持続可能なまちづくりの推進に向け、職員の資質向上を図ります。

市民ニーズの把握や地域課題の解決などに積極的に取り組む職員を育成するため、職員の意識改革や地域づくりに必要なスキル（ファシリテーション※やコーチング※など）を学ぶ研修機会をつくります。

<主な取組内容>

- 協働によるまちづくり職員研修
- 市職員向けデジタルスキルアップ研修の実施 ※新規
- 市職員に地域のまちづくり活動への参加促進
- 地域コミュニティ活動体験研修の実施
- 情報交換会の開催 ※再掲

(5) 評価及び支援

■互いを知り合う場の充実

まちづくり活動のステップアップを図るための交流機会を提供します。

これまでの情報交換会と合わせて、ICTを活用した事業との併用により、新たな参加者がかかわるきっかけづくりを進めます。

<主な取組内容>

- 情報交換会の開催 ※再掲
- 協働に係わるシンポジウムや講演会等の開催 ※再掲
- ICTと対面との効果的な組合せによる多様な人々の交流機会の提供 ※再掲

■市による評価及び支援

協働による持続可能なまちづくりの成果の見える化を推進します。

地域の暮らしを支え続けていく地域のまちづくり活動を進めるために、地域の状況に合った体制整備を進めていくとともに、地域の将来ビジョンの見直し支援や事業運営等の整理を進めていきます。

<主な取組内容>

- はつかいちさくら賞※表彰
- 地域貢献活動保険※
- まちづくり交付金による地域自治組織への支援
- 認可地縁団体※等まちづくり活動団体の法人化に向けた支援
- 協働事例集の作成と共有 ※再掲